

お客様からもらった感謝の声

ジャパントラスト様とお付き合いが始まって、1年半が過ぎました。当時、飛び込み営業で来られた日比野さんの第一印象は、「何や、口上手そうな人やなあ〜」というものでした。(申し訳ありません 汗)

しかし、遠方の弊社まで何度も何度も足を運んでくださり、また自社のサービスや体制について熱く語る姿は、いい意味で第一印象を大きく覆しました。そして、日比野さんへの信頼が揺ぎないものとなる出来事が起こりました。

韓国のとある船社が経営破綻したことにより、弊社の北米向けコンテナ数本が身動き取れなくなる事態が発生しました。折悪しく、該当コンテナには急ぎの商品が多数積載されており、配送遅延が長期化した場合、弊社の被るダメージは計り知れないものでした。しかし、船社の経営破綻が判明するや否や、現地側と朝な夕なに蜜に連絡を取り関係部門と粘り強い交渉をして下さる等、まさに八面六臂の活躍でした！！

結果、コンテナはオリジナルスケジュールから数日程度遅れただけで、無事届けられました。

この件を機に、日比野さん、ひいてはジャパントラストさんへの信頼残高が跳ね上がったことはいまでもありません。サービスという無形の物を取り扱う商売において大事なことは、やはり信頼関係だということの日比野さんから教えて頂きました…

大手住宅設備メーカー：田代様



【左：田代様 右：日比野】



Halloween in USA

名古屋本社外勤営業の久瀬です。

10月末から1週間、研修を含めアメリカへ出張に行きまして。

弊社をご存知のように北中南米をメインカーゴとしたNVでアメリカの巨大なマーケットを直に見られたことは私自身にとって非常に刺激的であり、財産となったのは言うまでもありません。この経験を今後の営業活動に活かせられればと思っております。



さて、今回は本場アメリカと日本のハロウィンとの違いを私なりに感じたことをご案内させていただきます。

まず驚かされた事はハロウィン当日は様々な職場で一部のビジネスパーソンが違和感なく仮装した状態で仕事をしている事です。街を歩いていると仮装したビジネスパーソンが多数で誰も驚いた感じではなく、普通にコーヒーショップに行ったりスーパーで買い物をしたり、車の運転をしたりなど全く普段の生活の一部として過ごしていた事です。日本では日中にしかもオフィスで仮装しての勤務はあまりなくアメリカとの文化の違いを痛烈に感じさせられました。夜にもなればクライマックスで、いかに仮装した者が。。。という感じで奇抜な仮装から可愛い仮装まで幅広く街全体がハロウィンモード一色となります。日本はキャラクター物やセクシー衣装など、ただただ目立った仮装した者勝ちというイメージが強いですが、本場アメリカでは様々なお店や家で『Trick or treat』(お菓子をくれないと、いたずらするよ)という言葉が多く飛び交っています。

日本に観光で来るアメリカ人は日本のハロウィンスタイルをどのように感じているか個人的には興味があります。今回の研修ではアメリカの巨大マーケット・物流事情も含め、文化の違いを感じさせられた素晴らしい経験となりました。

名古屋本社 外勤営業：久瀬 秀和

ジャパトラダービー in太平洋(北中南米航路)



【ジャパトラマン】

弊社10月度の北中南米航路 コンテナ本数取り扱い
第1位のジャパントラスト社員営業マンは

日比野 弘嗣

ご担当させていただいておりますお客様、
ブッキングありがとうございました。
今後ともご支援よろしくお願ひ申し上げます。

